

沖縄県人会

戦死者慰靈前に
「栃木の塔」清掃

返還50年、思い新た



の葉会」は18日、沖縄県糸満市摩文仁の平和祈念公園内にある、本県出身南万戦死者を慰靈する「栃木の塔」で清掃活動を行った。

「栃木の塔」の清掃活動に参加した「栃の葉会」のメンバー=18日午前、沖縄県糸満市摩文仁

116

(2022年6月20日付・下野新聞3面)

今年は沖縄返還50周年でもあり、追悼の思いも一層強いものがある」と話した。栃木の塔は、沖縄戦や南北諸地域で戦死した本県出身者3万一千柱以上を合祀している。(藤井達哉)

郷土への貢献として慰霊の日直前の週末、沖縄県内に住む本県出身者が集まり、約40年間、毎年塔の清掃を続けている。今年は20～70代のメンバー10人が集い、塔の碑文の内容を確認した後、塔周辺の草刈りや落ち葉拾いなどに約1時間、汗を流した。

も線香を手向けた。

も線香を手向けた。

小学校高学年 ～高校生向け

設問

【1】「沖縄慰霊の日」は何月何日か、記事をよく読み、書きましょう。

【2】沖縄県内に住む栃木県出身者は、約何年間「栃木の塔」の清掃を続けていますか。

【3】「島守の塔」には誰が祭られているとありますか。記事から抜き出しましょう。

【4】荒井退造がしたことを調べてまとめてみましょう。